

地域とともにある学校へ

令和4年度から小金小学校が「コミュニティ・スクール」になりました

☎教育政策研究課 ☎331-9800

文部科学省が推奨する形態による「コミュニティ・スクール」が、松戸市に初めて誕生しました。

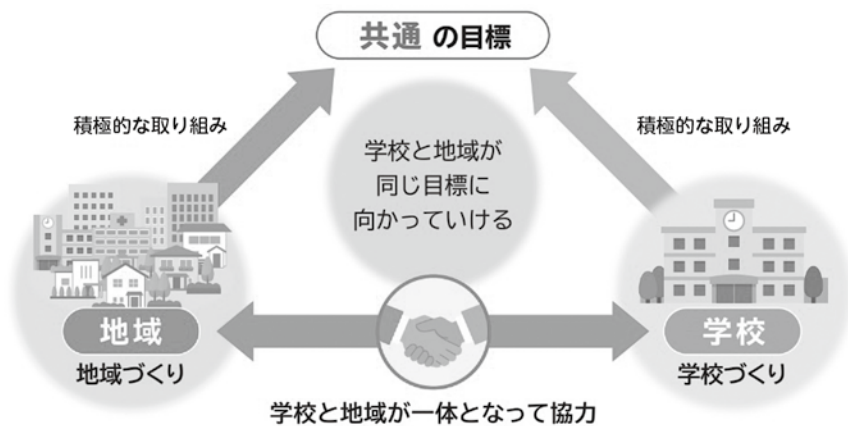
小金小学校では、これまで地域とともに作り上げてきた教育活動をさらに深めていくとともに、学校と地域と一緒に子どもたちを育てていくという考えのもと、地域全体で共通の目標を持って、子どもたちの学びと成長を支えていきます。

今後も、教育委員会では、市内の各地区の特性を活かしながら、地域・家庭・学校の持続可能な連携・協働の体制づくりの研究を進めていきます。



教育委員会
ホームページ

これからの学校と地域のあり方



「コミュニティ・スクール」とは

法律に基づき教育委員会より任命された委員が、一定の権限を持って、**学校の運営とそのために必要な支援について協議**する合議制の機関「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

小金小学校学校運営協議会委員

- 地域住民
- 保護者代表
- 近隣の幼稚園・保育所代表
- 学区の中学校代表
- 小金小学校職員など

地域・家庭と連携した教育活動の一例

地域を学ぶ「わくわく探検隊」

児童が校外に出て、小金の歴史や自然、また地域で働く人などについて、体験を通じて学びます。学習の成果を下級生に発表することで、学びの好循環を生んでいます。



近隣の幼稚園・保育園との交流

低学年児童が学校の様子を園児に紹介したり、一緒にレクリエーションをしたりします。異年齢の交流を通して、児童は自信を持ち、園児は小学校入学への期待を膨らませています。



保護者によるキャリア教育

保護者が教壇に立ち、自らの仕事を題材に、それぞれの職業観を児童に伝えています。働くことや職業への理解を深める機会となっています。



ふれあい花壇

児童が学校の花壇の手入れを小金地区社会福祉協議会とともにしています。花壇に咲いた花を地域の高齢者施設に届けています。

